

# 第4回「より良い大岡にするために」 市民ワークショップの結果をお知らせします

1月28日（日）大岡支所で、第4回目の市民ワークショップを開催しました。第4回目は、これまでの話し合いで出された「大岡をより良くするための活動」をふまえて、大岡の公共施設について考えていただきました。

前半で「公共施設でやりたいこと」を考え、後半で「公共施設の集約化や複合化について考える」グループ討議を行い、次回に向けた中間発表を行いました。参加いただいた皆さま、熱心な議論をいただき、ありがとうございました。

これからの地域のリーダー世代のEグループ



若手・子育て世代のEグループ



ワークショップの様子は、YouTube「大岡えんがわTV」でご覧いただけます

**次回2月11日（日）が最終回。各グループの意見発表会です。大岡の活性化や将来のまちづくりを見据えたアイデアが発表されることを期待しています。**



最終回の結果は、来月お知らせします。お楽しみに



長野市ホームページ  
(市民ワークショップのページ)

<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/koukyou-ws/>



【お問い合わせ先】  
公共施設マネジメント推進課  
電話：224-7592  
大岡支所 電話：266-2121  
小さな拠点づくりについては  
都市政策課 電話：224-5050

# 各グループからの意見の一部をご紹介します

## 【Aグループ】

- ◇大岡活性化センターは、農水産物加工処理施設の機能集約も含めて、宿泊施設とするのか、食品加工施設とするのか方向性を考える
- ◇小学校と中学校は統合する
- ◇アルプス展望ふれあいセンターは、以前のような飲食のできる、地域の交流の場にしたい
- ◇レッドゾーンの施設は使用しない。各施設の在り方を考える

## 【Bグループ】

- ◇ツーリングや釣りに来る客が多いが通過点になってしまっている。外からの客が大岡にとどまり、中心部まで来るための工夫が必要。情報交換できる場所として公共施設を活用してはどうか
- ◇保育園・歴史民俗資料館は、小学校・中学校に集約化することで、高齢者も含めた憩いと交流の場にする。空いた保育園はデイサービスに活用したり民間へ売却を検討する

## 【Cグループ】

- ◇少人数でも開園できるように、保育園を小学校に集約し、中学校までの一貫校として整備できないか（現状では移住のための整備が行き届いていない）
- ◇アルプス展望ふれあいセンター（カフェ・宿泊）と歴史民俗資料館（歴史学講座・展示）を活用して、気軽に交流できるパブリックスペースや移住体験ができる施設にする
- ◇道路沿いの木を伐採して、ツーリングなどでアルプスが良く見える見晴らしの良い道にする

## 【Dグループ】

- ◇農村文化交流センターとタイアップして、市営住宅を親子留学の受け皿に活用する。市営住宅から市営住宅への転居を認めて、市営住宅を集約化する
- ◇歴史民俗資料館の収蔵品は道の駅に移して展示することで活用する
- ◇保育園で「やまざと保育」を。コミュニティカフェ、住民同士、地区外の人との交流の場に
- ◇大岡屋内運動場は下大岡屋内運動場に集約。老人福祉センターは大岡体育館の休憩所に

## 【Eグループ】

- ◇大岡にイベントができる（使われていない）施設がたくさんある。地区外に呼びかけて地域との交流、人の流れを作りたい
- ◇大岡公民館・保健センターを拠点にして、起業塾や、空き家・農機具・移住支援などの情報ネットワークを作る
- ◇大岡体育館はスーパーボルダリングセンターや、ハンモックで昼寝できる施設にする



## ■毎回記入いただいている参加者アンケートより

- 「公共施設で何をやるか、なかなか出てこない。集約になると色々考える」
- 「提案だけでなく実現に向けて、次のステップに進めるための導きが必要だと思う」
- 「アイデアを実現するためやれることは何か。その手法を知りたい。施設の目的外利用ができないなどの規制が足かせになっている。規制を変えて有効利用することが有益」
- 「各グループが既存施設の活用を真剣に検討した。市は住民の意見を十分に尊重してほしい」
- 「人口が減るのがあたりまえの話し合いのようで悲しい」などの声をいただきました。